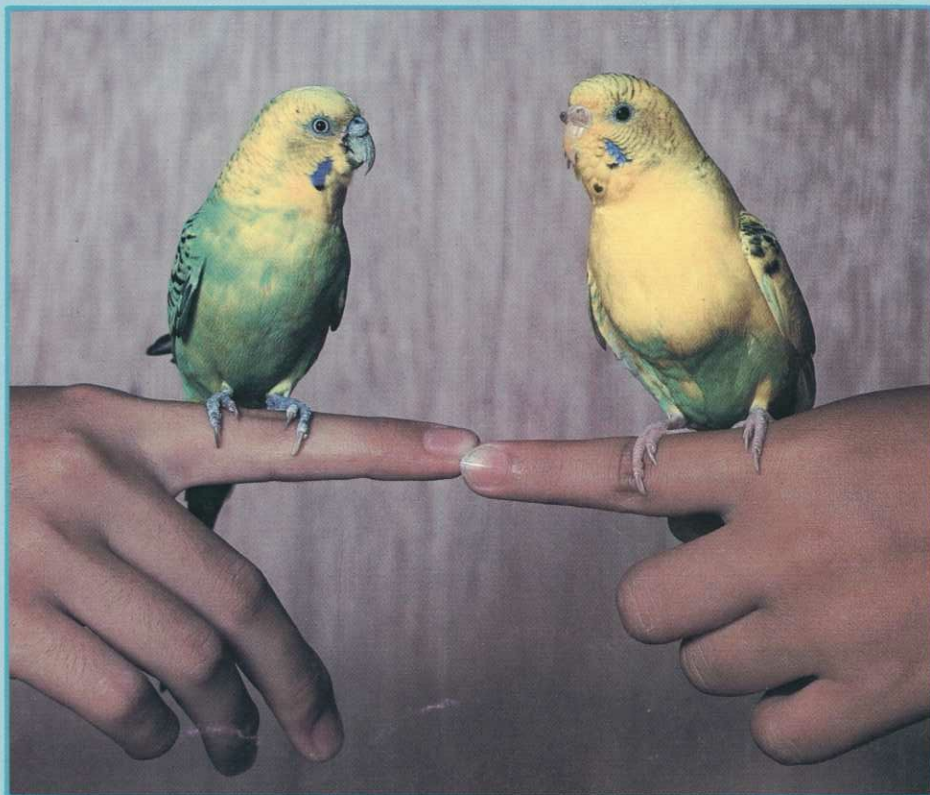


町制施行20周年記念要覧

ふれあいのまち

おんが



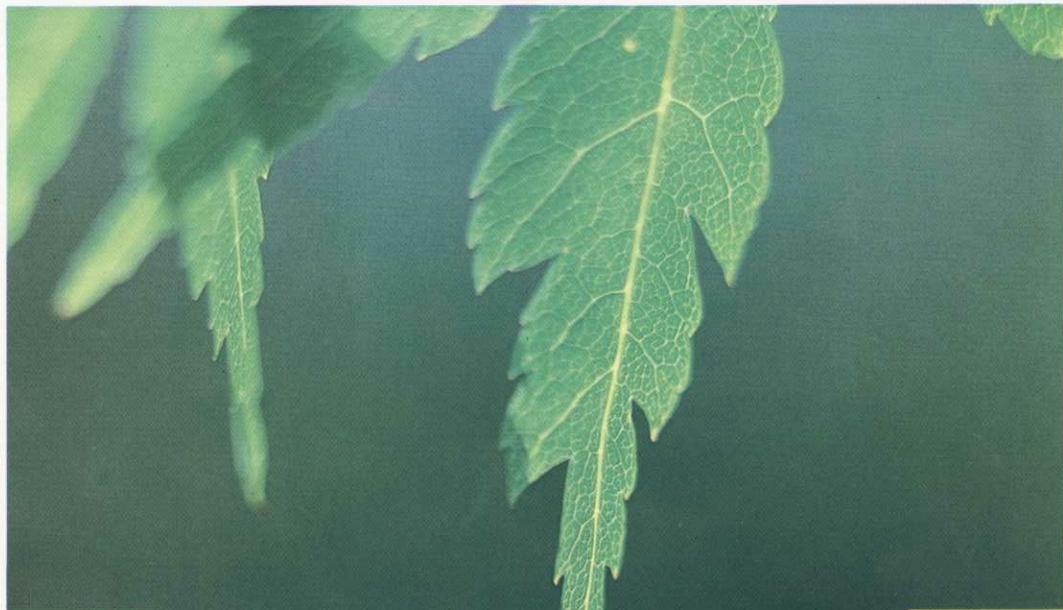
遠賀町民憲章

わたしたちは、農村のゆとりと都市の活力をあわせもつ
豊かなまちづくりをめざし、
次の目標を定めます。

- 一、水と緑と伝統を生かし、
文化の香りを高めます
- 一、ふれあいを大切にし、
明るいまちをつくります
- 一、仲間の輪をひろげ、
生活を創り楽しむまちにします
- 一、みんなで、住みたくなるまちづくりにつとめます。



水と緑の豊かな町



町の花 スイセン

ヒガンバナ科の多年生草本で地中海沿岸の原産、球根は鱗茎。葉は細長く線状をなして群生、11～3月頃花茎を出し開花する。

冬の寒さに耐え力強く咲く水仙の魅力は気品があって清純な清潔感にあふれ香り高い草花である。

町民が育て愛し郷土の緑化、花いっぱい運動に努めてほしいものである。



町の木 モクセイ

モクセイ科の常緑小高木で中国の原産。葉は楕円形で堅く10月頃小花を葉のつけ根に群生する。花の芳香は独特で庭園木としてこれに優るものはない。

町内の各家庭や学校、公民館等公共施設に緑と芳香が漂い自然に親しむ町として緑化の気運を高めたいものである。



上空から遠賀川駅周辺を望む

町制20周年を迎えて



本町は今春町制施行20周年を迎えました。水と緑の豊かな自然を基盤に「生活を楽しむ町」「生産をになう町」として方向づけ、北九州のベットタウンとして大きく躍進してまいりました。

これはひとえに町民の皆様の絶大なご支援とご努力の賜であり深甚なる敬意と感謝を捧げるものであります。

激動と試練の80年代も4年目を迎え、国・地方ともいよいよ厳しさを加え、経済の低成長化と高齢化社会への移行・社会福祉制度等、増々重要な諸問題を抱え国民生活は一層深刻な時期を迎えようとしております。

本町はこのような状況に対応するため、今後の町政運営の基本となる「遠賀町総合計画」を昭和59年3月に改定して、この厳しい状況の中で町民の要望にこたえ産業の振興・都市基盤・生活環境施設の整備・教育文化の向上・住民福祉の充実と地域社会の発展をはかり、農村のゆとりと都市の活力をあわせもつ「豊かな生活都市」実現のため、一層の努力を注ぐ所存であります。

ここに町制20周年を記念して要覧を刊行しましたので、ご高覧に供するとともに町政の現況をご理解いただき、皆様のより一層のご支援とご協力を賜われれば誠に幸に存じます。

昭和59年8月

遠賀町長 紫田貫彦

遠賀町のなりたち

明治22年4月1日 昭和4年4月1日 昭和39年4月1日



沿革

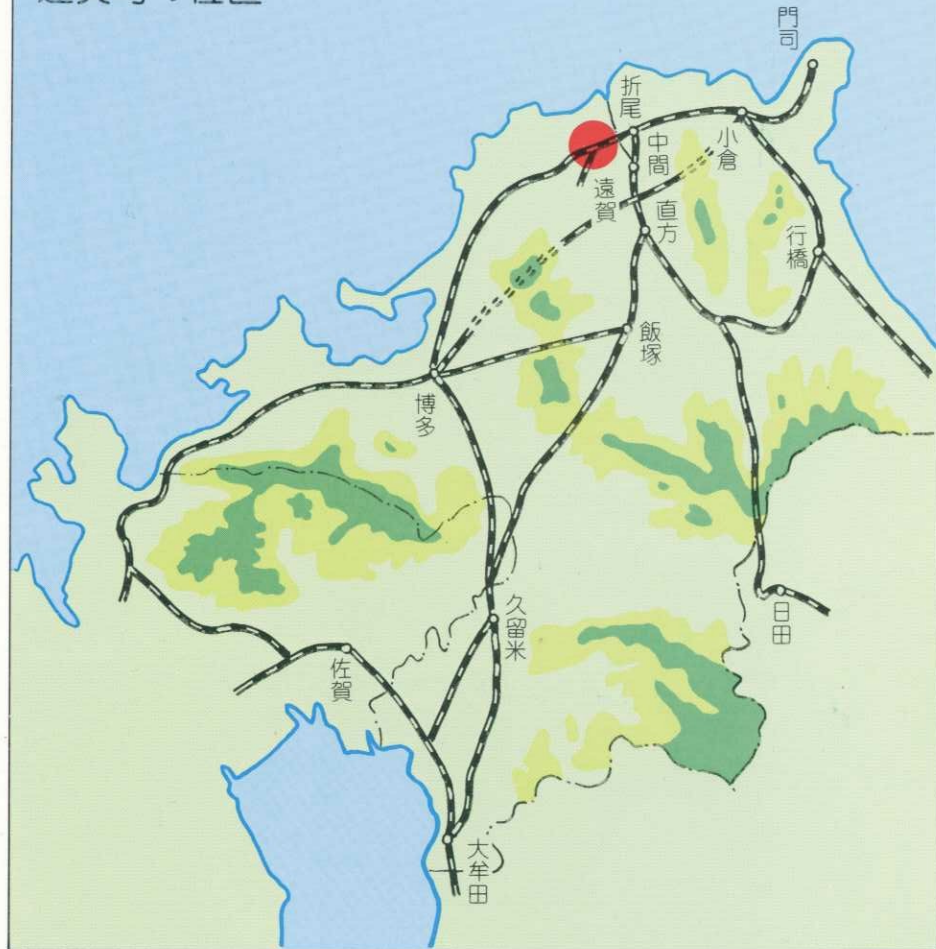
遠賀川沿岸一帯は、わが国でも有数な古代農耕文化の発祥の地として、遠賀川式土器の出土をはじめ、古墳遺跡が多数点在しており、その昔、北九州文化圏の形成に当たっては大陸との交易の場として重要な位置にあったといわれている。また、上古時代の遠賀平野一帯は一大入海をなしていたと伝えられており、町内各所に津、沖島、渡、崎などの水と海につながる地名を残しているのは一面に湾か潟をなし、漁業に都合がよかったことを思わせる。奈良朝時代には、太宰府から京に上る官制道路がルート化し、島門の駅があったと延喜式(927)に記されている。その後遠賀一帯の入海は、歳月と共に土砂の堆積で干潟あるいは芦牟田となり、漸次開田され集落が形成された。

明治維新後、町村制の実施で明治22年に北部6ヶ村が島門村を、南部4ヶ村が浅木村を結成したが、さらに昭和4年4月土木・水利等に密接な関係を有するのみならず、人情風俗も同一の両村が合併して遠賀村となり、昭和39年4月町制施行により遠賀町となる。

地勢

遠賀川の沖積層によって形成された遠賀平野の中心部で、町域の70%は平坦部に属している。また、西端部を南北に連なる遠賀山系(主峰207m)を分水嶺として、白水川、尾倉川、戸切川、および前川の各河川が東へ流下し、西川と合流して、芦屋町域で遠賀川に注いでいる。

遠賀町の位置



位置

遠賀町は、英彦山に源をもつ遠賀川左岸に沿った平坦地であり、東西5km、南北9kmの長方形で総面積は、22.42km²の町である。

地理的には、東へ北九州市8km、西へ福岡市45kmの距離があり、町内の中央部を国道3号線及び鹿児島本線が東西に走り、福岡～北九州両都市の中岡地帯に位し、交通の要所として脚光を浴びている。

極東 東経 130°41'37"
極西 東経 130°38'15"
極南 北緯 33°48'19"
極北 北緯 33°53'11"

議 会

町民の声を代表して

町制20周年に際して“豊かな生活都市を”

本町も町制施行以来、20周年を迎えました。顧みますと、昭和4年島門・浅木両村が合併して以来、純農村時代が続いてまいりました。

近年、北九州周辺は人口の増大・交通機関の発達・公害対策による環境の改善などで、生活圈・経済圏が著しく拡大されてきました。

北九州市内から30分圏内にある本町も、年々農村としての形態様相が変わり、北九州都市圏の一翼を担う町として発展しているところです。

本町はこの記念すべき年にあたり、第2次遠賀町総合計画基本構想をまとめ、遠賀川の自然と田園の緑を生かし、農村のゆとりと都市の活力を合わせ持つ「豊かな生活都市」をめざし健康で活力ある好ましい地域社会の創建を進めています。

われわれ議会人も変化に対応する新しい町づくりなど、あらゆる諸問題の解決と町の意思決定機関として正しい方向づけをし、圏域の発展と町民の皆様のご期待に沿いますよう、精進いたしたいと思えます。

昭和59年8月

遠賀町議会議長 井口時彦



議長 井口時彦



副議長 秦 玉彦



議会だより「おんが」
(年4回発行)



7月17日 臨時議会で

歴代議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	柴田 貴蔵	昭和38・5・1	昭和42・4・20
2	中山 包久	◇ 42・5・1	◇ 48・4・20
3	高崎 重徳	◇ 48・4・20	◇ 50・4・19
4	中山 包久	◇ 50・5・4	◇ 56・5・22
5	井口 時彦	◇ 56・5・22	現在に至る

町議会議員

議席	氏名	議席	氏名
1	柴田 征一郎	9	木野 國繁
2	添田 年孝	10	高山 和幸
3	石田 寅雄	11	竹内 初男
4	柴田 晴善	12	村田 征規
5	泉原 武彦	13	中西良三郎
6	伊藤 輝雄	14	小田 晋介
7	上野 桂治	15	秦 玉彦
8	柴田 清昭	16	井口 時彦

町議会のしくみ

- 第1常任委員会 8人
(総務課・企画調整課・住民課
教育委員会及び収入役室の各所管事項)
- 第2常任委員会 8人
(産業課・建設課・福祉課
地域改善対策室の各所管事項)
- 企画開発調査特別委員会 8人
- 青少年対策特別委員会 8人
- 議会運営委員会 6人
議会定数26人／条例数16人／現議員数16人
定例会・年4回／臨時会・適宜

昭和39年4月町制施行当時はエネルギー革命の施策による炭鉱閉山に伴ない大量の人口流出を招き8,800人にまで減少しましたが、その後都市計画法による用途地域の指定をして、民間デベロッパーによる住宅団地の開発を促進し、北九州市のベットタウンとして町勢の拡充につとめ20年後の現在では16,000人近くにまで増加しました。

この人口増加にともなって町道、河川の整備、庁舎、中央公民館、小中学校の新增築、農業基盤整備事業等を重点的に実施し、また国や県と協力しながら国道3号線バイパス、西川の立体橋架設、遠賀川河口堰、西川改修事業等を施工してまいりました。

また町民みんなが健康でしあわせに暮らせるために勤労者体育センターや総合運動公園を整備しています。一方で住民一人ひとりが自分の心や身体の健康に対して正しい知識を持っていただくために食生活改善推進事業や



健康づくり —— 乳児相談 ——



健全な青少年の育成 —— 少年剣道教室 ——

老人保健事業をとおして知識の普及を推進するとともに各種ガン検診を行って早期発見につとめ、住民の健康づくりを図るとともに青少年育成町民会議及び区民会議を組織して青少年の健全育成をめざしています。

同和問題につきましては、昭和49年度から生活関連基盤整備事業を実施すると共に人権意識の普及高揚と啓発活動を行って差別のないまちづくりに取り組んでいます。

住民福祉につきましても保育所の施設整備、運営費等に対する助成を行い、乳幼児、母子等医療の無料化と老人生きがい対策等住民福祉の向上の推進をはかっています。



柴田武門助役

柴田貫蔵町長

石橋清美収入役



旧遠賀町役場庁舎
昭和47年4月まで



現在の庁舎▶
昭和47年5月に完成

● 歴代町長

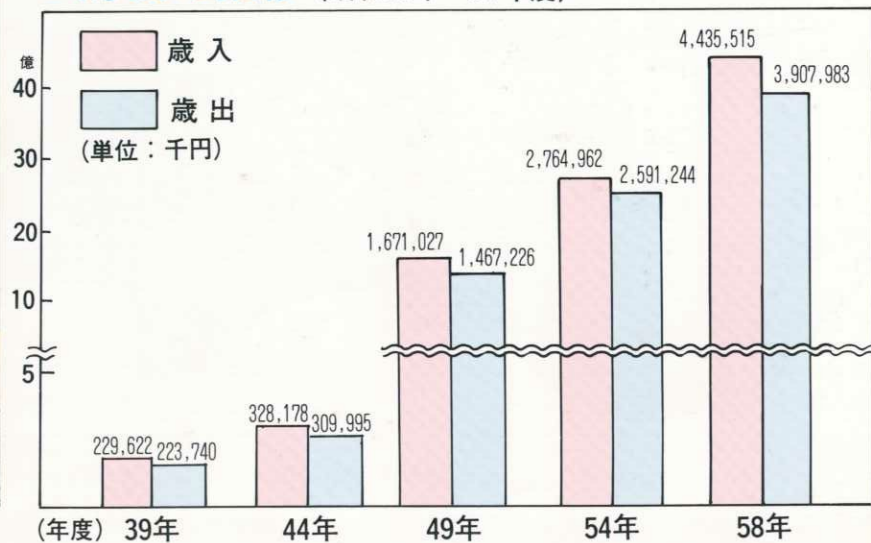
代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	小川登一郎	S38.5.1	S42.4.30
2	小川登一郎	◇42.5.1	◇46.4.13 (死亡による)
3	柴田 貫蔵	◇46.5.25	◇50.4.24
4	柴田 貫蔵	◇50.4.27	◇54.4.26
5	柴田 貫蔵	◇54.4.27	◇58.4.26
6	柴田 貫蔵	◇58.4.27	現在に至る

社協だより
「おんが」
(年1回発行)



広報「おんが」
(月2回発行)

● 財政の推移 (昭和39年～58年度)



ナイターで余暇の有効利用を

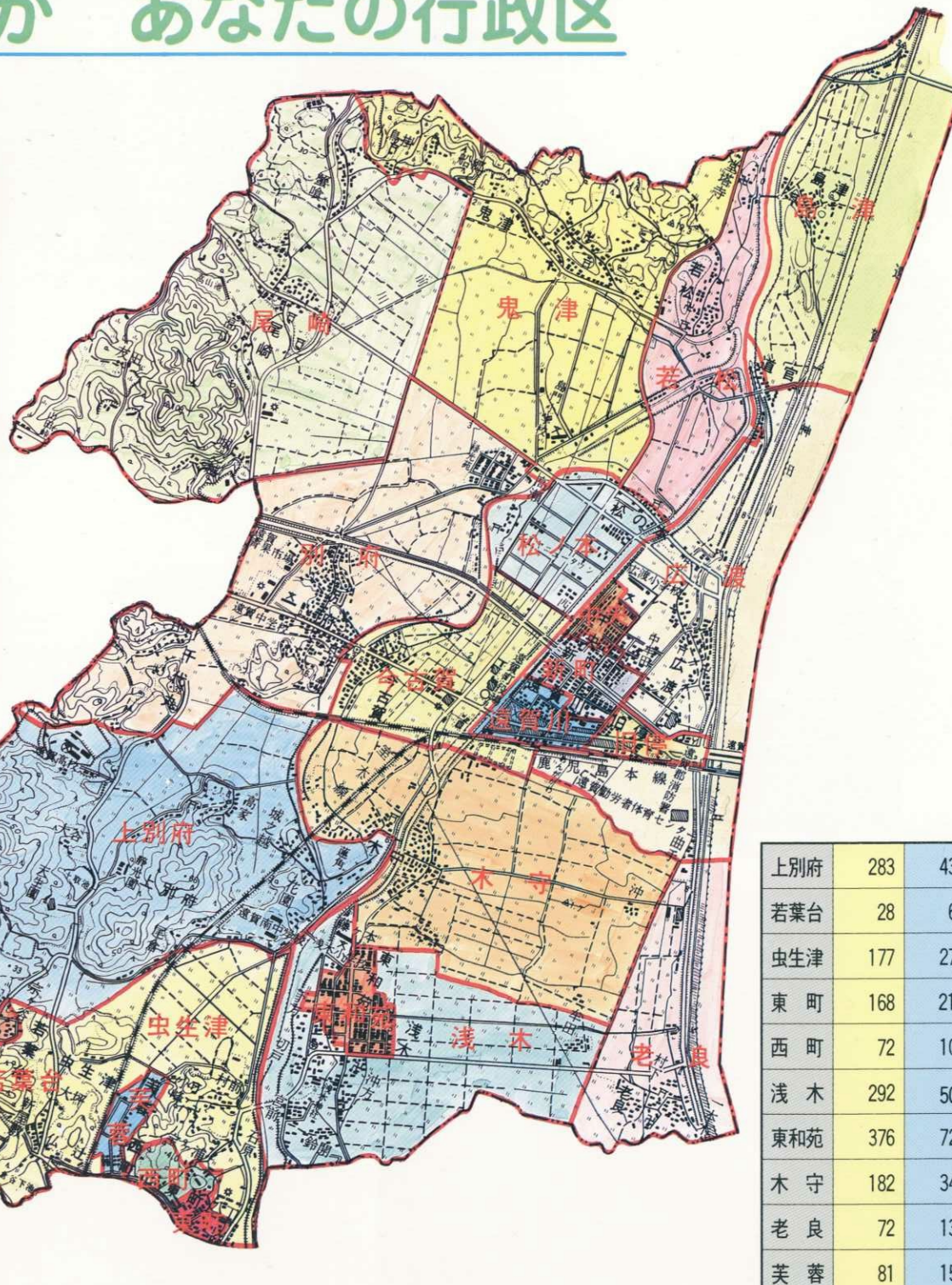
総合運動公園

ご存じですか あなたの行政区

行政区一覧表

(昭和59年6月現在)

	世帯数	男	女	計
島津	29	69	51	120
若松	97	172	201	373
鬼津	188	364	392	756
尾崎	171	316	353	669
別府	419	764	791	1,555
今古賀	130	210	231	441
遠賀川	308	461	522	983
新町	374	577	621	1,198
旧停	122	165	211	376
広渡	293	484	535	1,019
松ノ本	422	789	827	1,616



上別府	283	434	511	945
若葉台	28	63	57	120
虫生津	177	279	317	596
東町	168	212	222	434
西町	72	100	126	226
浅木	292	505	520	1,025
東和苑	376	726	742	1,468
木守	182	340	371	711
老良	72	136	146	282
芙蓉	81	154	154	308
中央	175	318	358	676
合計	4,459	7,638	8,259	15,897

教 育

明日の人づくり

町内学校(園)施設 ——— 昭和59年4月現在 ———

学校(園)名	園児・児童・生徒数			学級数	職員数	開校(園)年月日		
	男	女	計					
保 育 園	法人	遠賀川保育園	48	42	90	4	11	S25・3・5
	法人	山びこ保育園	64	58	122	6	17	S30・4・1
	法人	南部保育園	66	54	120	5	11	S32・4・1
幼	法人	遠賀中央幼稚園	120	116	236	7	10	S43・4・1
小 学 校	町立	浅木小学校	325	321	646	18	23	M7・4・1
	町立	島門小学校	299	281	580	17	23	M35・9・2
	町立	広渡小学校	187	197	384	12	20	S52・4・1
中 学 校	町立	遠賀中学校	258	280	538	13	26	S22・4・1
	町立	遠賀南中学校	191	174	365	9	18	S59・4・1
高	県立	遠賀高校	418	268	686	18	63	M44・4・1 (移転) S46・4・1



遠賀南中学校



▼遠賀町中央公民館

◀遠賀勤労者体育センター

学校教育においては、島門小学校は昭和40年に、遠賀中学校は昭和42年に、浅木小学校は昭和44年に、防音鉄筋コンクリート校舎が完成しました。

その後、昭和50年頃から団地造成による人口急増のため、昭和52年に広渡小学校が、昭和59年には遠賀南中学校が、それぞれ開校しました。学校給食センターも広渡小学校の開校時に隣接して設置し、センター方式による学校給食を開始しました。

教育内容面においても、関係者の教育に対する努力により、たびたび文部省はじめ県教育委員会等の研究委嘱校に指定され、大きな教育効果をあげてきました。

社会教育においては、従来から公民館活動を中核として推進して来ましたが、昭和50年の中央公民館の落成を機に、活動範囲も広まり一層の成果をあげつつあります。

また、社会体育も、各小学校の運動場や屋内運動場の開放、公園のグラウンド及び勤労

者体育センター等の施設利用によって、町民の老若男女の全般にわたってのスポーツの普及興隆はめざましいものがあります。

青少年問題においても、昭和55年に青少年育成町民会議が発足し、昭和59年には、文部省から「豊かな心を育てる施策推進モデル市町村」に指定され、町をあげての青少年健全育成活動を推進しています。

遠賀町

■史蹟

島門駅跡

中世の宿駅の跡で、所在は不明であるが、「延喜式」に「駅馬二十三匹船二艘」とあるのみ。

五郎城址

島津では五六山と呼んでいる、城跡。

目洗の井

月軒長者の娘が眼を病ったがこの井戸の水で洗い快癒したといわれている。

鳥見山

若松の背山で昔神功皇后はこの山から飛び交う鳥を眺めたとのこと。

首塚

宗像合戦の時戦死者の墓であるといわれている。

千代丸城跡

小早川隆景の出城といわれている。

般繫松

上別府区汐井掛にあり、昔の木は枯れたが植えついでいる、菅公いわれのもの。

腰掛石

上別府公民館にあり菅公ゆかりのもの。

籠の梅

浅木宮境内

狩衣梅

浅木森家「狩衣袖に移して帰らばや浅木の浅からぬ香を」

御茶屋跡

広渡丸にあり、黒田侯の茶屋跡。

■いいつたえ

檜葉石

島津にあり。

鬼門除け

鬼津の東西南北に、観音、虚空羨蔵庚申地蔵がある。

九十九谷

尾崎の山にあり。

義人碑

今古賀にあり、昔今古賀をすくった二人の義人の碑。

竜の淵

木守井手神社にまつわる竜の伝説地。

霊樹

高家天満宮に伝わる梅の木の伝説。

■寺跡・一石塔

島津慈眼寺跡（公民館）…血盆経一字
一石塔あり

経塔…若松栄宗寺

一字一石塔…鬼津常楽寺

一字一葉塔…木守古観音

菊池武重臣村上墓…尾崎、白草林家

道場寺址…虫生津仏の辻

十一面観音像…別府今泉神社境内

六地藏…別府今泉神社境内

首なし地藏…今古賀八剣神社境内

川端観音…虫生津川端

倉谷権現様…虫生津倉谷

池ノ上地藏…虫生津宝ヶ浦

三島明神…大谷にあり

松ノ本地蔵堂…松ノ本

■村の祭り（主なもののみ）

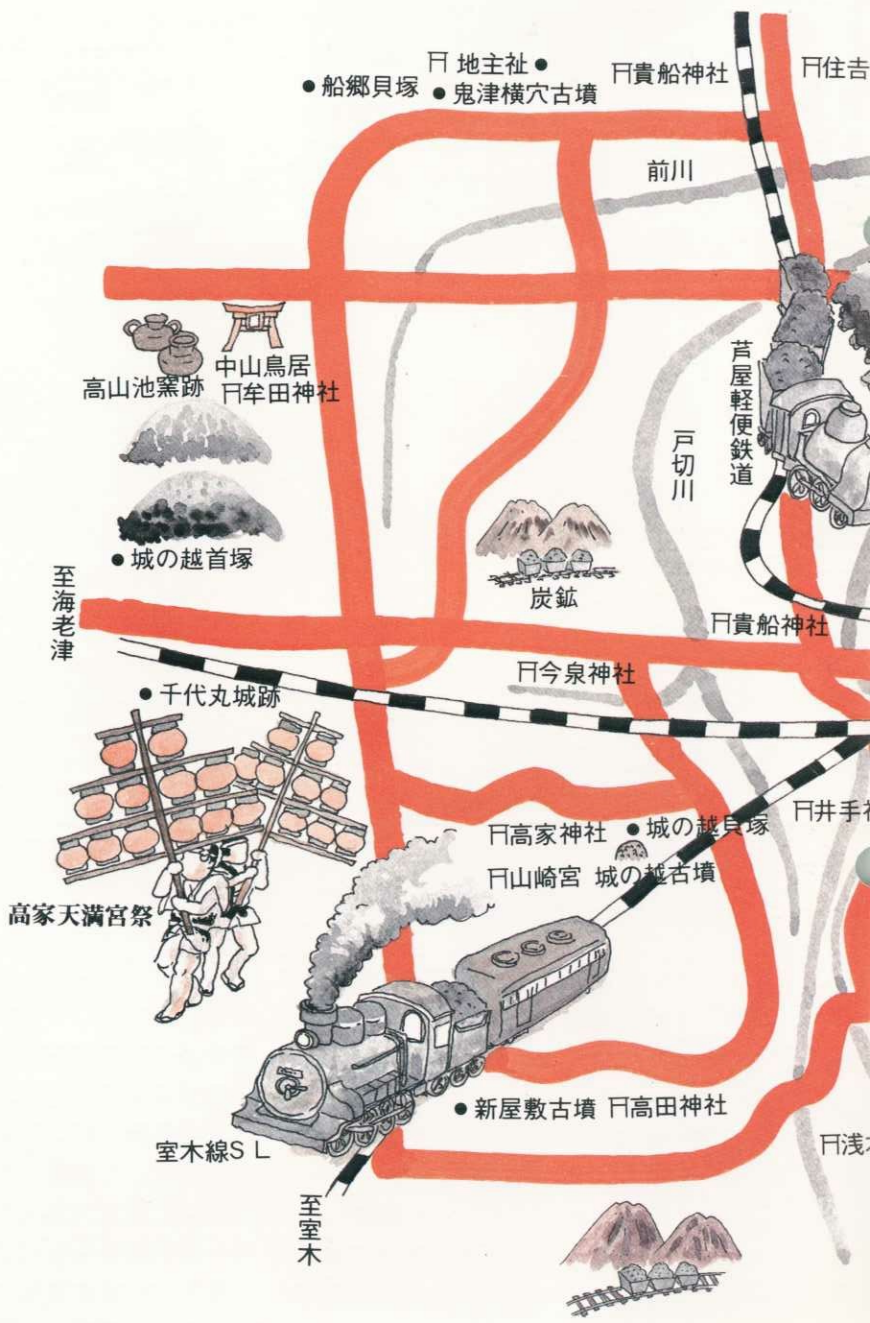
●老良祇園祭

●島津祇園祭

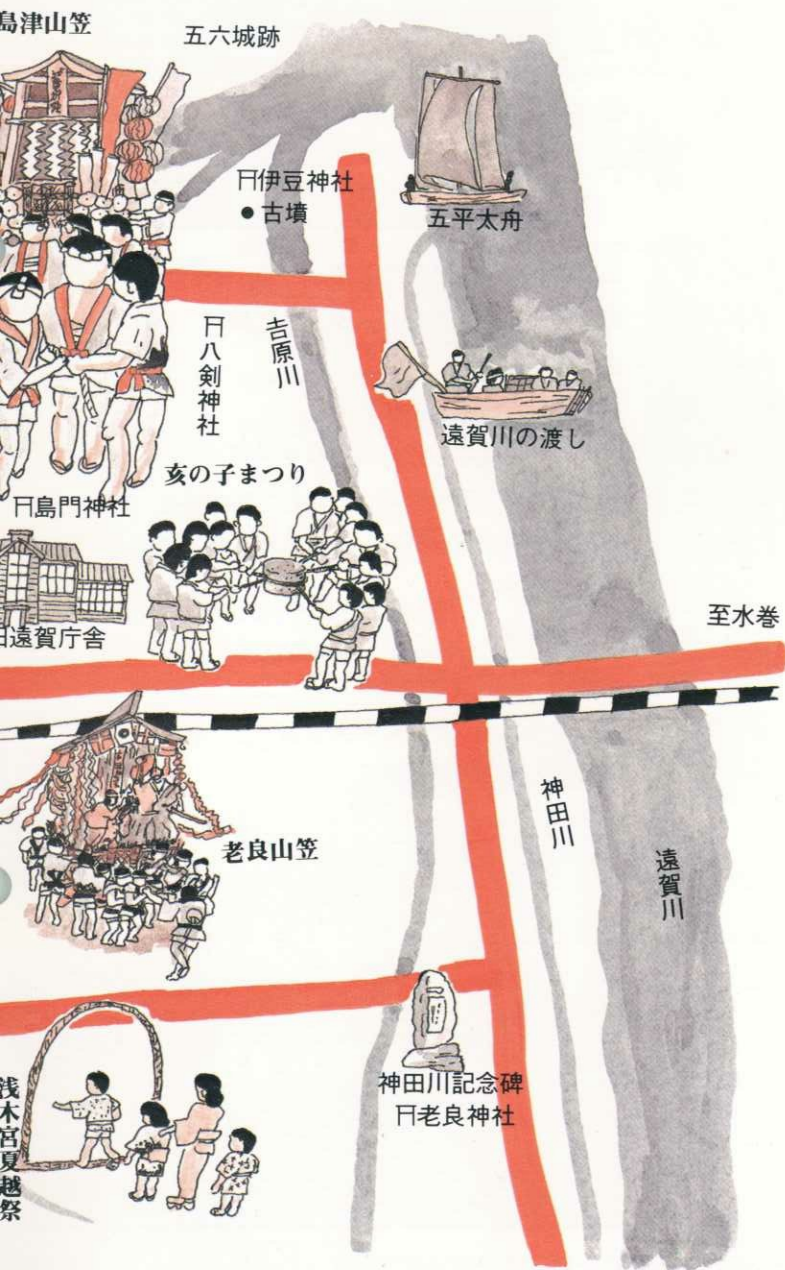
●広渡宮座（菰黒祭）

●高家天満宮祭

●浅木宮夏越祭（茅の輪）



絵地図



ひと夜で咲いた菜の花

広渡の八剣神社は昔から村人の信仰のまゝとして、うやまいっづけて来ましたが、社殿も古くなったので何とか早く改築しなければと思っていました。

そんなある時、大雨で遠賀川が増水し、上流からたくさん材木が流れて来ました。

村人たちはこれこそ天のめぐみだろう、この材木でお宮を建て直そうと語りながら、みんなでその材木を集めました。

その後どこからともなく、「その材木はお役人の家を建てるのに

使うので、誰も使うことはならぬ明日それを調べに来る」という話が入ってきました。

村人は困ってしまい、畑を掘ってその材木をみんな埋めてしまいました。

そしてその上に一面菜種をまきました。翌る日、役人が調べに来た時は、不思議なことにその菜種がひと夜のうちに芽をだして、菜を伸ばし、見事に花を咲かせていました。

役人が帰った後、里人たちはよろこび合ってお宮を改築しました。

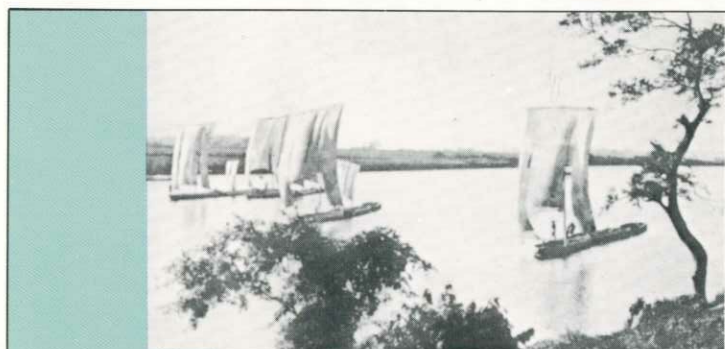


遠賀町の年表

年月	事績
明治7年1月	鬼津、広渡、今陸(今古賀)浅木の四小学校を開設
〳 12年	浅木小学校を別府尋常小学校と改称
〳 17年7月	島門村役場を鬼津に設置(鬼津、島津、広渡、今古賀尾崎、別府、戸切の7ヶ村を管轄)
〳 19年7月	大洪水あり夏に早魃あり
〳 19年4月	鬼津小学簡易科、広渡小学簡易科と改称、今陸小学校を廃校
〳 22年5月	町村制実施の際に、島門村の内、戸切を岡県村(岡垣町)に分属させる。
〳 22年6月	町村制実施により、木守、虫生津、下底井野(浅木)に別府の内、高家、花園、尾倉を加えて浅木村を編成
〳 22年6月	浅木村役場を花園に設置
〳 22年	遠賀川鉄橋単線完成
〳 22年	別府尋常小学校を浅木尋常小学校と改める
〳 23年11月	九州鉄道会社により遠賀川駅開業
〳 24年	大洪水、被害全村に及ぶ
〳 25年4月	鬼津尋常小学校、広渡尋常小学校と改称
〳 25年12月	島門村役場を広渡に移転
〳 26年1月	鬼津尋常小学校を廃し広渡尋常小学校に合併
〳 26年	早魃あり
〳 27年	早魃あり
〳 29年	浅木村農会、島門村農会創立される
〳 35年	島門村隔離室及び火葬場を鬼津に新設
〳 35年6月	別府蓮角に浅木村隔離室を新設



老良小学校
二年ほど前まで老良
公民館として使用さ
れていた。



遠賀川を上る
往時の五平大船

明治35年9月	広渡尋常小学校を島門尋常小学校と改称
〳 35年9月	老良尋常小学校を創立(通学区老良)
〳 38年	大洪水あり
〳 40年3月	遠賀川駅公衆電報取扱開始
〳 40年4月	島門、浅木両小学校に高等科を併置
〳 40年5月	遠賀川駅舎、旧停車場から現在位置に移転
〳 41年2月	遠賀川大改修工事開始(国営事業工費 4,395,000円、人夫延15万人)
〳 41年6月	室木線開業
〳 42年11月	遠賀川-赤間間復線開通
〳 43年	島門、浅木両小学校に実業補習学校を併置する
〳 44年4月	遠賀川郵便局が開局する

大正4年
遠賀川の渡し風景
(広渡)
新船就航の際の記念
に村の駐在巡査や村
代表者が紋服姿で乗
船した時のもの。



大正4年	芦屋軽便鉄道株式会社創立
〳 4年4月	遠賀川駅跨線橋落成



柴田直敏翁記念碑
除幕式

翁は弘化4年広渡に生まれ、明治22年43歳で島門村初代村長に就任し、大水害後の村の建て直しに精力的に努力を続けた写真は、大正7年の記念碑除幕式のもの。

大正12年2月

島門村公設消防組織

〳 13年

遠賀川橋完成

〳 15年6月

実業補習学校に青年訓練所を併設し、島門、浅木両小学校を公民学校と改称し併置する

昭和2年

乗合自動車（大和バス）遠賀川ー木月間開通

〳 3年

浅木村公設消防組織

〳 3年4月

浅木小学校に実科女学校を併置

〳 4年4月

浅木村と島門村合併、遠賀村誕生

〳 4月

老良区を浅木小学校の通学区とする

〳 4年

早魃あり

〳 5年

神田川農業用水開通

〳 6年

国道3号線完成

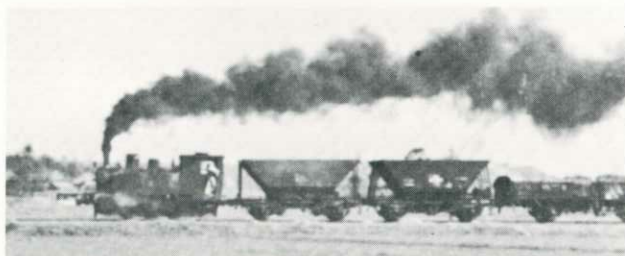
〳 6年6月

遠賀村役場庁舎完成

〳 7年

芦屋軽便鉄道事業不振のため廃止

当時の
芦屋軽便鉄道



昭和8年

遠賀村産業組合を設立

〳 8年

失業対策事業として西川改修工事始まる

〳 9年6月

大早魃、寿命堰ネコ掛け、及び塩田堰の築堤



遠賀川
寿命堰の
ネコ掛け風景

昭和10年

〳 10年

虫生津に金丸鉱業所開鉱

大降雨のため稲苗腐蝕し、宮崎、鹿児島から苗を移入する

〳 11年

農林省の経済更正指定を受け、全村学校を開校

〳 13年4月

合村10周年記念式を行う

〳 13年5月

農村振興道路建設

〳 14年

大早魃あり

〳 15年

金丸鉱業所にかわって東邦炭坑が経営

〳 16年4月

国民学校令により、島門、浅木両小学校を国民学校と改称

〳 16年

大降雨、役場庁舎の基礎を上げる

〳 19年

農会並びに産業組合をもつて農業会を設立

〳 19年

東邦炭坑、株三菱鉱業に吸収される

〳 21年6月

遠賀川駅に特別待合室（RTO）開設

〳 22年3月

国鉄芦屋線開通（占領軍用）

〳 22年4月

遠賀中学校開校（浅木校に3学級、島門校に4学級を分散設置生徒数296名）

〳 22年4月

浅木、島門両校の高等科を廃し、小学校と改称

〳 22年12月

遠賀川駅全面改築

〳 23年

農業協同組合法により遠賀村農業協同組合を設立



当時の遠賀村農業協同組合

昭和23年

遠賀川駅、急行列車停車駅となる

〳 23年9月

遠賀中学校校舎第1期工事竣工（8教室）

〳 25年10月

遠賀川保育園開園

〳 26年8月

西川堤防決壊

〳 27年12月

島門、浅木両小学校改築



昭和26年の西川堤防決壊により被害を受けた両校の改築工事が行われた。写真は完成になった島門小学校。

昭和28年6月 遠賀川堤防決壊大洪水 遠賀村大被害を受ける



昭和28年6月の豪雨で遠賀川の堤防が決壊し60年ぶりの大洪水にみまわれ全村ほとんど水没。深きは丈余に達し大被害を被った。前々年の西川堤防、この年の遠賀川堤防と両災害により、村の再起如何かと心配されたが村民の奮起と協力により次々と復旧、修復されていった。

昭和29年3月 遠賀川郵便局舎、役場横から農協前に移転

当時の遠賀川郵便局舎



昭和29年12月 合村25周年記念式



昭和30年頃の遠賀村役場前風景

昭和30年
 30年2月 遠賀村公民館別館落成
 遠賀村簡易水道浄水場完成

遠賀村簡易水道浄水場



昭和30年3月 遠賀川大橋落成（巾員6m長375m工事費164,091,000円）

- 30年4月 山びこ保育園開園
- 31年 農山漁村振興計画特別指定地域となる
- 32年 青年研修所開設
- 32年4月 南部保育園開園
- 33年3月 遠賀中学校体育館落成
- 35年8月 養老施設「遠賀静光園」設置51名収容
- 35年9月 遠賀川駅、特別待合室閉鎖
- 36年6月 芦屋鉄道廃止
- 36年 国鉄電車開通
- 36年7月 九州初の第一回航空防除実施（対象面積 800 ha）
- 37年2月 三菱鉱業株鞍手炭坑閉山
- 37年 西川改修工事（浚渫）始まる
- 37年12月 炭坑離職者緊急就労対策事業を起し山手線道路改良工事着手



山手線道路改良工事風景



当時の広報紙「村報おんが」

昭和38年8月 島門小学校防音校舎建築始まる
 38年10月 遠賀川駅前信号機設置
 38年10月 三菱鉱業株新入鉱業所閉山
 38年10月 産炭地事業団、虫生津団地造成起工



第8回遠賀村農民祭主催の耕耘機競技大会の一コマ。昭和38年、この年村内に馬・役牛約400頭、耕耘機約310台。この外、当時はもみすり大会等も行われていた。

赤ちゃん大会入賞者のスナップ（昭和38年）

当時は村主催で赤ちゃん大会が乳児一斉検診をかねて年一度開かれていた。



昭和39年4月1日 遠賀町制を施行する (浅木・島門両村
合併35周年)



全町が祝賀一色

遠賀町力強くスタート

遠賀町役場の新しい歴史
昭和39年4月1日、浅木・島門両村が合併して遠賀町が誕生した。この日を境に、遠賀町は新しい歴史を刻み出す。町民の生活の向上と、地域の発展を期す。町民の生活の向上と、地域の発展を期す。町民の生活の向上と、地域の発展を期す。

昭和39年4月2日付の
毎日新聞北九州版より



初代遠賀町長
小川登一郎



町制を祝った各種行事



役場前から遠中グラウンドまで吹奏楽
パレードを行った。



よい子達の音楽発表会
(遠中講堂)



小倉祇園太鼓競演風景
(遠中グラウンド)



遠中講堂で行われた演芸会
でのスナッフ (遠賀川婦人
会。出し物は元禄花見踊り)



昭和39年4月島門小学校入学式
の一コマ。旧校舍玄関前での記
念写真もこの年で最後。前年か
ら防音校舎が建設中。
(40年3月完成)

昭和39年4月

- ◇ 39年4月
- ◇ 39年8月
- ◇ 40年8月
- ◇ 40年10月
- ◇ 41年2月
- ◇ 41年2月
- ◇ 41年3月
- ◇ 41年8月
- ◇ 41年9月

遠賀郡農業協同組合の発足 (郡内農協合併)

町全域に亘る国土調査事業開始

遠賀町戦没者慰霊塔落成

遠賀中学校防音校舎建築始まる

第一回町民体育大会始まる

農村集団電話開設 (317戸加入)

町道友田線開通

有線放送施設完成 (島津他9地区)

町北部 (島津、若松、鬼津、尾崎地区) 水道布設事業開始

遠賀中学校プール完成



第1回町民体育大会
喫煙競争のスナッフ

遠賀中学校にプール完成

プール開きには、東京オリンピ
ック水泳代表の田中聡子選手
を招き、盛大に行われた。



昭和41年12月

- ◇ 42年4月

遠賀町北部地区西鉄バス開通 (折尾-海老津間)

遠賀中学校防音校舎落成



思い出の旧遠賀中学校
校舎と講堂

昭和42年4月

遠賀川駅前団地造成開始 (民営)



宅地ブームに乗
って住宅建築が
広がっていった

昭和42年 8月 浅木小学校防音校舎建築始まる



思い出の旧浅木小学校校舎

昭和42年 9月 重広線開通

重広線開通
テープカットをする小川町長
と地元代表の重広勝氏

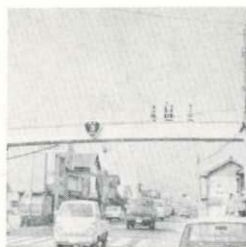


昭和42年12月 島門小学校講堂落成
 43年 3月 西川湛水防除事業広渡排水機場完成

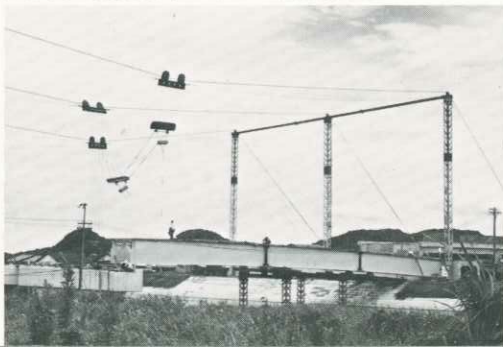


西川湛水防除事業広渡排水機場

昭和43年 3月 町北部（尾崎、鬼津）上水道事業開始
 43年 3月 県道直方～芦屋線立体交差完成
 43年 5月 遠賀郡農事センター広渡に落成
 44年 3月 浅木小学校防音校舎落成
 44年 4月 町道山手線舗装事業開始
 44年 8月 遠賀川自動電話交換局完成
 45年 3月 旧停に「ははこぼし」完成
 45年10月 遠賀中学校講堂（改築）落成
 46年 2月 島門小学校プール完成
 46年 3月 鬼津地区学習等供用施設（公民館）落成
 46年 4月 遠賀農芸高等学校上別府地区に移転、授業開始
 46年 5月 国道3号線遠賀バイパス建設開始



3号線遠賀バイパス
急ピッチで建設進む
写真は西川に橋を架
けている風景



航空防除

昭和36年から昭和49年まで田植後10日前後の適期を狙いヘリコプターをチャーターして実施。病害虫防除に多大の成果を収めた。害虫の農薬に対する抵抗性と市街化により防除が困難になったため以後中止。



昭和46年 5月 遠賀町水道事業中間市水道に併合
 46年 6月 遠賀郡農協本所庁舎落成
 46年 6月 上別府花園ポンプ（移設）完成
 47年 3月 尾崎地区学習等供用施設（公民館）落成
 47年 3月 県道宮田～遠賀線立体交差完成
 47年 4月 遠賀町章決まる
 47年 4月 遠賀町庁舎（移築）落成



遠賀新庁舎落成



遠賀町の町章決まる
応募数53点のうちから北九州市若松区の入江通開氏の図案が一位入選

昭和47年 4月 遠賀郡消防署落成
 47年11月 献穀米上納（畑生半一氏）

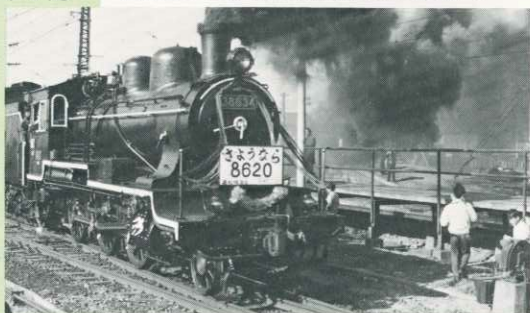


古式ゆかしき
田植え風景



遠賀川駅周辺を上空から望む〈昭和47年〉

- 昭和48年 5月 浅木小学校プール完成
- ◇ 48年 5月 鹿児島本線に歩行者専用跨線「あけぼの橋」完成
- ◇ 48年 6月 虫生津排水ポンプ完成
- ◇ 48年 6月 一市四力町火葬場（天生園）完成
- ◇ 48年11月 島津地区公民館落成
- ◇ 48年12月 都市計画用途地域の指定を受ける
- ◇ 49年 1月 国鉄室木線専用機関車SL姿消す



「さよならSL」
多くの鉄道ファン
が別れを惜しんだ。

- 昭和49年 5月 遠賀川郵便局（移築）落成
- ◇ 49年 5月 老人憩の家落成



- 昭和49年 6月 鞍手町・遠賀町水道組合解散
- ◇ 49年 9月 今古賀在住の遠賀農芸高校勤務、山下博子先生アジア大会に走幅跳選手で出場



日本記録保持者山下博子先生の健闘を町をあげて祈った。

日本記録保持者山下博子先生の健闘を町をあげて祈った。

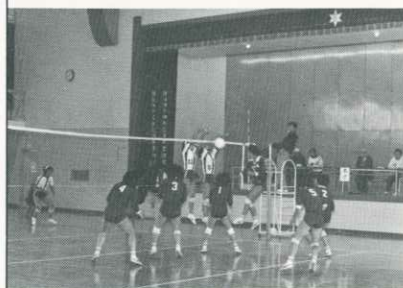
日本記録保持者山下博子先生の健闘を町をあげて祈った。

昭和49年11月 町制施行10周年を記念して多彩な記念行事が行われる

- 22日・記念式典・演芸
- 23日・農業祭式典
- ・郡農協婦人部マスケーム
- ・消防署レインジャー演技
- ・八幡西高ブラスバンド

スポーツ行事

- 24日 バレーボール 博多女子高対 柳川商高
- 伝習館高対直方高
- ソフトボール



10周年記念のスポーツ行事

遠賀町 満10歳

遠賀町の町制施行10周年を記念して、11月22日（土）に「遠賀町 満10歳」を記念して、多彩な行事が行われる。この日は、町民の憩いの場として、遠賀川沿いに「あけぼの橋」が架けられ、歩行者専用通路が確保された。また、この日は、町民の憩いの場として、遠賀川沿いに「あけぼの橋」が架けられ、歩行者専用通路が確保された。

きょうから 町ぐるみ祝賀ムード

町民の憩いの場として、遠賀川沿いに「あけぼの橋」が架けられ、歩行者専用通路が確保された。また、この日は、町民の憩いの場として、遠賀川沿いに「あけぼの橋」が架けられ、歩行者専用通路が確保された。

昭和49年11月22日付の毎日新聞北九州版より



昭和49年12月 国道3号線遠賀バイパス片側二車線開通



田植機の導入で写真のような田植え風景はめずらしくなった。〈49年撮影〉

昭和50年 3月 若松地区学習等供用施設（公民館）落成

◇ 50年 9月 遠賀町中央公民館落成

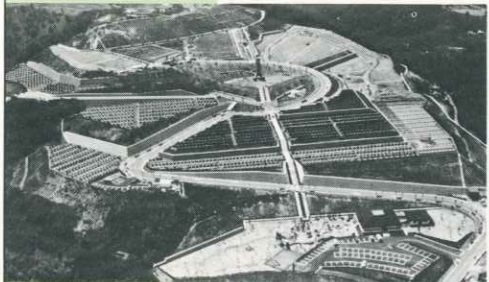


51年10月にオープンした中央公民館3階にある民俗資料館

- 昭和51年1月 都市計画道路計画決定
- 〳 51年3月 木守集会所落成
- 〳 51年7月 第1、第2道官橋完成
- 〳 51年10月 遠賀町民俗資料館開館
- 〳 51年12月 浅木簡易郵便局開局
- 〳 52年4月 広渡小学校落成開校
- 〳 52年4月 給食センター落成



- 昭和52年4月 中学校学校給食開始
- 〳 52年8月 広渡小学校プール完成
- 〳 52年11月 遠賀町土地開発公社設立
- 〳 53年1月 広渡小学校体育館落成
- 〳 53年3月 別府集会所落成
- 〳 53年7月 広渡小学校ナイター施設完成
- 〳 53年11月 広渡地区学習等供用施設(公民館)落成
- 〳 53年11月 今古賀地区学習等供用施設(公民館)落成
- 〳 54年4月 浅木小学校校舎(増築)落成
- 〳 54年4月 第1武道場落成
- 〳 54年4月 西町町営住宅落成
- 〳 54年4月 道官集会所落成
- 〳 54年4月 遠賀、中間地域広域行政事務組合発足
- 54年6月 町営遠賀霊園オープン



西日本最大の公園墓地
総面積 108,198㎡
4,800区画

- 昭和54年6月 島門小学校体育館(新築)落成
- 〳 55年3月 遠賀中学校校舎(増築)落成
- 〳 55年3月 遠賀川河口堰(49年4月着工)完成
- 〳 55年3月 木守地区学習等供用施設(公民館)落成
- 〳 55年4月 遠賀静光園移転落成

- 昭和55年4月 曲手排水機場完成
- 〳 55年4月 前川排水機場完成
- 〳 56年3月 浅木小学校体育館(新築)落成
- 〳 56年3月 島門小学校校舎(増築)落成
- 〳 56年3月 第2武道場開設
- 〳 56年4月 休日急病センター落成(水巻町)
- 〳 56年6月 尾倉配水池(上水道)完成
- 〳 56年7月 遠賀勤労者体育センター落成

体力向上をねらいにトレーニング室も備えた近代的な遠賀勤労者体育センター



- 昭和57年3月 老良地区公民館落成
- 〳 57年4月 総合運動公園グラウンド新設工事始まる
- 〳 57年7月 北九州市外局番統一化
- 〳 57年7月 島津橋完成
- 〳 57年11月 木守橋完成
- 〳 58年5月 馬頭岳ハイキングコース完成

遠賀町 ③1355
中央公民館 ③1356
遠賀町同和对策
事業推進協議会 遠賀川 3-1505 木守529
遠賀町道管集会所 遠賀川 3-3582 広渡249
遠賀町別府集会所 遠賀川 3-4164 別府377
遠賀町役場...代③1234 今
遠賀町老人館の家 遠賀川 3-0169 別府
旧電話番号



虫生津新屋敷から千代丸を結ぶ約6キロのコースは、遠賀郡内全域、遠く玄海灘から英彦山、福智連山が眺望でき、自然を満喫するにはもってこいのハイキングコース。

- 昭和58年9月 第1回遠賀町子どもまつり開かれる
- 〳 58年10月 第1期ボランティアスクール始まる

各地区の公民館や子供会育成会から推薦された人や、小・中学校、保育園の先生などボランティア活動に関心をもち将来リーダーを志す60名を対象に10月から翌年3月まで毎週1回講座が開かれた。



- 昭和59年2月 総合運動公園グラウンド完成
- 〳 59年3月 浅木地区公民館落成
- 〳 59年3月 総合運動公園ナイター施設完成
- 〳 59年4月 遠賀南中学校落成開校
- 〳 59年5月 春まつり、第2回遠賀町子どもまつり、盛大に開かれる

統計からみた町民のくらし

<p>人口密度</p>  <p>1haあたり { 7.0人 4.4人 4.4人</p>	<p>人口</p>  <p>1世帯あたり { 3.7人 3.8人 5.6人</p>	<p>出生</p>  <p>1日に { 0.5人 0.39人 0.32人</p>	<p>死亡</p>  <p>1日に { 0.3人 0.22人 0.19人</p>	<p>転入</p>  <p>1日に { 3.8人 2.62人 1.48人</p>
<p>転出</p>  <p>1日に { 2.4人 2.23人 1.71人</p>	<p>結婚</p>  <p>3.8日 1.35日 } に1組 4.56日</p>	<p>離婚</p>  <p>16.6日 10.73日 } に1組 33.18日</p>	<p>町議会議員</p>  <p>町民 983人 有権者 684人 } に1人 619人 447人 615人 319人</p>	<p>町職員</p>  <p>町民 155人 } に1人 138人 219人</p>
<p>教員 (小中学校)</p>  <p><小学校> 児童 26人 29人 23人 } に1人 <中学校> 生徒 24人 21人 27人</p>	<p>医院</p>  <p>町民 3,935人 } に1区院 1,982人 2,460人</p>	<p>交通事故</p>  <p>1日 } に1件 3.7日</p>	<p>救急出動</p>  <p>1.2日 } に1件 2.2日</p>	<p>火災</p>  <p>45.6日 } に1件 36.5日 18.3日</p>
<p>消防団員</p>  <p>町民 153人 } に1人 83人 63人</p>	<p>電話</p>  <p>0.9世帯 } に1台 1.5世帯 13.2世帯</p>	<p>郵便物</p>  <p>1か月1世帯に { 50通 47通 34通</p>	<p>自動車</p>  <p>3.3人 } に1台 7.9人</p>	<p>二輪車</p>  <p>7.3人 } に1台 14.8人</p>
<p>水道</p>  <p>1か年1世帯あたり { 243m³ 250m³</p>	<p>テレビ</p>  <p>1.1世帯 } に1台 1.25世帯 1.27世帯</p>	<p>警察官</p>  <p>町民 2,623人 } に1人 2,471人</p>	<p>町予算</p>  <p>町民1人あたり { 270,906円 89,982円 14,989円</p>	<p>町税</p>  <p>町民1人あたり { 49,480円 14,209円 4,307円</p>

●上段は 昭和58年度の資料
●中段は 昭和48年度の資料
●下段は 昭和38年度の資料
——は数値不明

遠賀町には自然がいっぱい

カレンダーがなくても

季節の移り変わりを



1月 ミヤマホオジロ

冬鳥として渡来し、林縁でえさをあさっているのをよく見かけます。体は地味な色をしていますが、頭の黄色が目立ちます。



2月 キジバト

別名山鳩ともいわれ、デデンポッパーとなくまきます。人里や低い山に生息していますが、近年市街地の街路樹などでも繁殖しているようです。



3月 ヒヨドリ

ハトよりやや小さめで、ピーヨ、ピーヨとなくまきます。九州では一部留鳥ですが、冬には本州から大きな群れをつかって渡ってきます。



4月 ツバメ

桜前線と同じように、ツバメの渡来日でおとずれを知る鳥です。同じ巣に戻ってくる帰巣本能がとても強い鳥として有名です。



きさらぎのこえを聞く頃になると、家々の梅が咲き始め、朝早くから空にはひばりのさえずりが聞こえる。

桜が咲き、菜の花が遠賀川の堤防に揺れる。近くの山裾ではウグイスのトレモロが流れる。

山々の緑が濃くなって初夏へのかけ足が早くなると、麦が熟れ、やがて忙しい麦獲の頃になる。

水辺の葦に啼くよきりの声が急がしく、南風の岸にはさざなみが青春をくすぐる。

一面の田んぼは一枚の紙のように水をたたえ、美しい空を写している。蛙のうたが昼も夜もにぎやかになる。思い出したように唸る



5月 カワセミ

スズメ位の大きさと、背中のブルーと長いくちばしが特徴です。一年中水辺に棲み、水面上からダイビングして魚をとらえます。



6月 アマサギ

シラサギの仲間では小型で、コサギと同じ位の大きさです。夏には頭部が橙色になり、水田でよく群れをなしているのを見かけます。



7月 オオヨシキリ

全身ウグイス色の地味な鳥です。5月になると日本に渡ってくる夏鳥で、遠賀川周辺のアシ原で周日ギョギョシ、ギョギョシと鳴きさわいでいます。



8月 コサギ

一般に白サギと呼ばれる中で、小さい方から順にコサギ・チュウサギ・ダイサギの名前があります。コサギは年中河川や田んぼで見られます。

知ることが出来ますね



9月 コゲラ

スズメ位の大きさのキツツキで、ギーギーと扉がきしむような声で鳴きます。公園や庭の木にもやってきて、あまり人をおそれません。



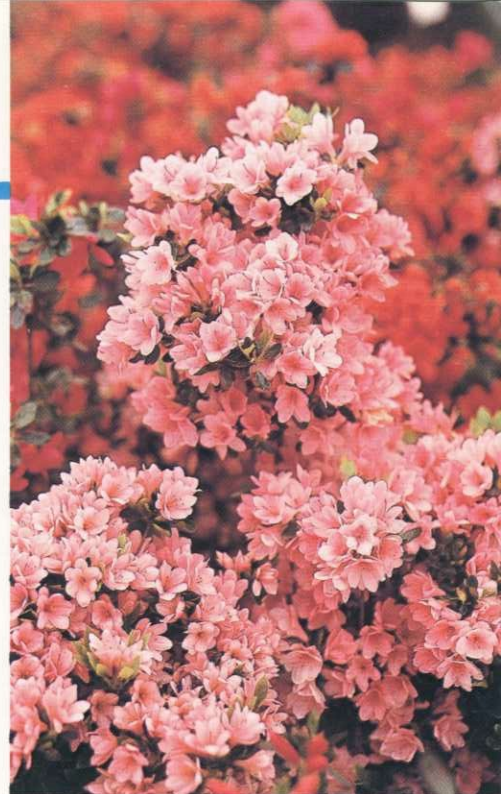
10月 ハクセキレイ

秋から冬にかけて見られます。白黒のツートンカラーでほっそりとした体と長い尾が特徴です。水辺でいつも尾を上下に振りながらえさをとっています。



11月 ツグミ

日本に渡ってくる代表的な冬鳥で、公園や庭先にやってきては、ピラカンサやクロガネモチなどの木の実を好んで食べます。



声は食用蛙だろう。

人々が急がしくたち働くことは昔も今も変わりなく、田植えも終わる。

暑い日々がすぎて、今まで緑一色だった田が黄金色にかがやき、人々はまた急がしい日々をむかえるのだった。

家々の垣根がモクセイのまろやかな香りに包まれ、鎮守の森ではおくんちの太鼓がひびく。

稲刈のすんだ広い田んぼには、そこそこに白い鷺の姿が静かに動くばかりである。

長い冬を迎え、スイセンの花が咲く春も遠くはない。



12月 タゲリ

中国やシベリアなどで繁殖し、冬日本に渡ってきます。広い水田跡地に群れをなしており、飛ぶ時にミュート子猫のような鳴き声を出します。



馬頭岳ハイキングコース

天生園

町営遠賀霊園

遠賀高校

遠賀静光園

上水道尾倉配水池

老人憩の

至鞍手

遠賀南中学校

壁木線

第二武道場

南部保育園

浅木小学校

県道宮田・遠賀線

あんかイラスト

鹿兒島本線
遠賀川駅

遠賀総合運動公園

至中間

遠賀勤労者体育センター

曲手排水機場

県道芦屋・直方線



至岡垣

町道山手線

遠賀青果市場

遠賀中学校

県道黒山・広渡線

遠賀中央幼稚園

島門小学校

国道3号線

山びこ保育園

県道浜口・遠賀線

第一武道場

西川

遠賀町役場

遠賀町中央公民館

広渡小学校

前川排水機場

遠賀町公民館別館

川派出所

遠賀町商工会

遠賀川郵便局

遠賀川保育園

給食センター

遠賀郡農協

遠賀郡消防署

広渡排水機場

県道北九州・芦屋・福岡線

至芦屋

御牧大橋

遠賀川

遠賀川漕艇場

Y.F

遠賀川橋

至水巻



会場案内

日	時	場所	行事	
8月25日(土)	18:00~	総合運動公園	サマーポップスコンサート (ロックバンド演奏)	
	19:30~	〃	ミスコンテスト	雨天の場合 体育センター
	20:00~	〃	カラオケ大会	
8月26日(日)	8:30~	総合運動公園	小中学校運動会	
	10:00~	中央公民館	記念式典	
	11:00~ 16:00	遠賀川	水上カーニバル (イカダ競争)	
	17:30~	役場~ 総合運動公園	花車とバトンガール・ 自衛隊パレード及び演奏	雨天の場合、 式典・水上カーニバル以外 は8月27日(月)に順延
	18:30~	総合運動公園	町民音頭・町歌発表	
	19:00~	〃	盆踊り大会	
	21:00~	〃	歌謡ショー	
	21:45~	〃	フィナーレ	



さあ
8月25日・26日は
みんな
集まろう!!

8月25日(土)

サマーポップス
コンサート
(18:00~)



ミスコンテスト
(19:30~)



カラオケ
大会
(20:00~)



町制20周年記念式典・行事あんない

式典

(10:00~)

盆踊り大会

(19:00~)

歌謡ショー

(21:00~)

8月26日(日)

小中学校運動会

(8:30~)



パレード バナナのたたき売り

(17:30~) (19:00~)



イカダ競争

遠賀川 (11:00~)



フィナーレ

(21:45~)



町章



遠賀町の「オ」を図案化したもので
町民の団結と融和を表現し限りない
町勢の躍進を象徴する。

あとがき

この要覧は、町制20周年を記念して遠賀町の現況と20年の歩みを紹介するため発行しました。なにぶん短期間の編集で、不備な点多いかと思いますが、今後のため、ご批判・ご指導をいただければ幸いに存じます。

なお、編集にあたり貴重な資料、写真の提供やご協力いただきました方々に対し、厚くお礼申し上げます。

昭和59年 8月

遠賀町制20周年記念要覧

発行日	昭和59年 8月10日
発行	遠賀町役場 福岡県遠賀郡遠賀町今古賀513番地 〒811-43 ☎093 (293) 1 2 3 4
編集	企画調整課
印刷	冷羊田印刷合資会社
製版	佐藤写真製版社